

ツールバー

ツールバーというのは、パソコンの機能をマウスを使ってワンタッチで実行する為に作られているボタンで、通常はその機能やコマンドが一見してわかるようなデザインで表示されています。

これを特にツールバーと称するのは横一列に並べられているからなので、PHOTOSHOP についているツールは2列の縦型なので、ツールボックスと呼ばれます。デスクトップに散りばめられているアイコンと機能としては似たようなもので、要するにショートカットキーの集合体なのです。

ツールバーはマウスを使ってコマンドを入力するためのもので、ウィンドウズ特有の GUI (Graphical User Interface) というわけですから、カラフルで分かりやすいので初心者にもすぐに覚えられてとても重宝です。

それまでのMS-DOSの時代には、コマンドはすべてキーボードで行うので、暗号のように一つ一つ約束事を覚えねばなりませんでしたから、これがパソコン入門者には大きなネックでした。例えば下のようなコマンドを一見しただけでうんざりしませんか？

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\System\CurrentControlSet\control\FileSystem
```

実を言えばパソコンは水面下でいつもこのようなコマンドの下に動いているのですが、これでは余程のパソコンお宅でない限り到底ついては行けませんよね！？

そこでウィンドウズの世界では絵をマウスでクリックして、コマンドを入力出来るようにしたと言うわけです。

ツールバーのボタンは要するにコマンドのショートカットという訳です。ですから、必ずしもツールバーを使わなくても、殆どのコマンドは他の方法で入力することは出来ます。こうやってもいいし、ああやってもいい等と云われると却って物事がややこしくなると思うときもあります。結局のところパソコンはなんとか易しく素早くコマンドの入力をさせたいと考えているのです。

(1) WORDのツールバー

WORDを開くと通常は18個あるツールバーのうち、「標準」と「書式設定」の2つがメニューバーのすぐ下に並んでいます。

メニューバーの「表示」をクリックして、ツールバーをマウスで指すと18個のツールバーが一覧表示されますが、その中の「標準」「書式設定」にチェックが入っているのがわかります。このチェックを外せばツールバーは表示されなくなるし、他のツールバーにチェックを入れればそれが画面に表示されて来るわけで、あまり沢山のツールバー

を表示させると、作業画面が狭くなってしまいますので、その都度バーを表示させて使うようにすることが求められています。

ツールバーのプルダウンメニューは、ツールバーの右端のスペースを右クリックしても出てきますので、ツールバーの表示・非表示はマウスの作業としては簡単です。

(2) WORDの「標準」ツールバー

下のような内容です。

新規作成	Ctrl+N	「ファイル」から
開く	Ctrl+O	〃
上書き保存	Ctrl+S	〃
(電子メール)		
印刷	Ctrl+P	〃
印刷プレビュー		〃
スペルチェックと文章校正	F 7	
切り取り	Ctrl+X	「編集」から
コピー	Ctrl+C	〃
貼り付け	Ctrl+V	〃
書式のコピー/貼り付け		
元に戻す・入力		
先に進む (やり直しできません)		
ハイパーリンクノ挿入		
罫線		
表の挿入		
エクセル・ワークシートの挿入		
文字方向の変更		
図形描画		
見出しマップ		
編集記号の表示・非表示		
ズーム		
WORDのヘルプ		

これらの「標準」ツールバーの中からよく使うものは、多分「上書き保存」「印刷」「印刷プレビュー」「切り取り」「コピー」「貼り付け」「元に戻す」「ズーム」で、それ以外はあまり普段は使わないと思います。これらはすべてワンタッチですから慣れると本当に便利な「ツール」になります。

しかし、キーで入力している時、マウスに手を持ち替えるのは面倒なので、切り取りや貼り付けを Ctrl+X, Ctrl+Vでやってしまうようになると、これはもう上級者の域に達したと云ってもよいのではないのでしょうか。

書式設定のツールバーについては殆ど一目瞭然なので、ここでは詳述を避けます。

(3) EXCELのツールバー

EXCELの「標準」ツールバーについては、WORDのそれとよく似ていますが、流石に表計算のソフトですから、初めの半分は同じでも、その後は関数やグラフのショートカットがあって、非常に便利です。因みに添付した図では私がカスタマイズして加えた電卓のボタンが見えていますが、このような実践的なツールバーの自分流への変更も楽しく簡単に出来ます。

「書式設定」となると文字変換が少なくなり、代わりにセルの結合、セルの罫線、セルの色塗りなど EXCEL 特有の便利なボタンが出てきますので、WORD とは違った楽しさが増えると思います。

(4) OUTLOOK EXPRESSのツールバー

いつも使っているOUTLOOK EXPRESSのツールバーは非常に簡単なものですが、しかし非常に実践的で便利に出来ています。ここでは先ずOUTLOOKを開くと受信トレイが出てきますが、そこにはツールバーは一つしかないのです。

従ってツールバーの表示・非表示もメニューバーの「表示」からは出来ず、ツールバーのどこかを右クリックしてやるしかありません。

今度はメッセージ作成のウィンドウを開くと、ツールバーは「標準のボタン」と「書式バー」の2つが用意されており、従ってメニューバーの「表示」からツールバーの表示を指示することが出来ます。

この「書式バー」はメールの本文を打ちはじめないと黒く浮き出て来ない、つまり使えないので、宛先とか件名を書式バーでフォントの変更をしようとしても出来ないのですが、その理由は多分宛先は必ず英語半角でなければならず、件名も結構弄ると文字化けの原因となり易いからではないかと想像されます。

OUTLOOK EXPRESSに於いては、ツールバーの効用価値は極めて高く、これを他の方法、つまりキーボードやメニューバーのプルダウンメニューからコマンド入力することなどは考え難いほどです。つまりそれだけツールバーがうまく作られていると言うことではないでしょうか。

以上/